

ごあいさつ

日頃より佐賀県信用農業協同組合連合会（愛称「JA佐賀信連」）に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、当会の経営方針や業務内容、令和7年度の業績を紹介するため、本誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会へのご理解を一層深めていただくと幸いです。

当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下JAが推進する地域農業の振興と、安心して暮らせる地域づくりを金融面から支えてまいりました。今後もJAと緊密に連携し、利用者の皆さまの生活向上に寄与する多様な金融サービスを提供し、地域農業と地域社会の発展に努めてまいります。

近年は、国際情勢の不安定化に伴う生産資材価格の変動が続き、農業経営には依然として不透明感が残っています。一方で、国においては食料安全保障の強化や持続可能な農業の実現に向けた政策が進展し、スマート農業や環境配慮型農業の普及など、農業現場の変革が加速しています。こうした環境変化の中、JAグループには農業所得の向上や生産基盤の強化に向けた支援がこれまで以上に求められており、当会もJA自己改革に不断に取り組んでいます。

金融分野においては、金利環境の変化や利用者ニーズの多様化が進み、貯金・貸出・資産運用など幅広い領域で高度な対応が必要となっています。また、AIをはじめとするテクノロジーの進展は、金融サービスの提供方法や働き方に大きな変革をもたらしています。さらに、マネー・ローンダリング防止・テロ資金供与対策、サイバーセキュリティ強化など、金融機関として取り組むべき課題も増加しています。当会では、リスクベースアプローチに基づき、内部管理態勢の強化と情報セキュリティ水準の向上に継続して取り組んでいます。

現在、当会は「利用者がつながりたくなるJAバンク佐賀」を目指す中期戦略の実現に取り組むとともに、「第15次中期経営計画（令和7～9年度）」の中間年度として、将来にわたる安定的な事業基盤の確立を進めています。役職員一丸となり、農業メインバンク・地域メインバンクとしての役割を果たし続けるとともに、利用者保護、コンプライアンス、マネー・ローンダリング・テロ資金供与対策、サイバーセキュリティを含むリスク管理の高度化に努め、信頼される金融機関であり続ける所存です。

皆さまの変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年7月



経営管理委員会会長
楠 泰誠

代表理事理事長
材木 洋幸